

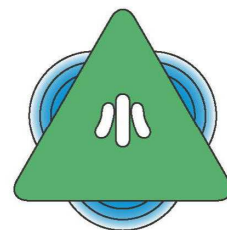
# 鳥海の子

～明るく・かしこく・たくましく～

令和5年度 学校報 No.32 文責 校長

コミュニティ・スクールだより

由利本荘市立鳥海小学校 令和5年12月15日



## 学校参観日 多数の出席ありがとうございます

1年生のインフルエンザによる学年閉鎖が明け、12日のPTA学校参観日。残念ながら欠席が目立つ学級もありましたが、4年生PTCR（キャンドルづくり）5年生PTCR（親子でボールゲーム）をはじめ、各学級で子どもたちのがんばりを参観していただきました。6年生からは、家庭科の時間に栄養バランスに注目して考えた給食献立（洋風元気100倍めし、おいしさひきたつ鶏飯風お茶漬け、お楽しみメニュー、パワーめし）が提案されました。玄関ホールに投票コーナーを設けていましたが、お気づきでしたか。

学級懇談では、子どもたちの8月からの育ちの状況、冬休みの生活、スキー教室、子育てなどが話題になっていたようです。同年齢の子どもを育てている仲間同士で、今の子どもの様子から考えていることなどを、担任を交えて情報交換の機会になっていれば幸いです。

いつもご協力いただき、ありがとうございます。



## 矢島・鳥海地区生徒指導研究協議会 研修会(12/12)の講話から ～由利本荘管内の非行状況とネットトラブル～

矢島・鳥海地区生徒指導研究協議会の今年度事務局が鳥海小学校ということで、由利本荘警察署生活安全課少年育成支援官の講話を拝聴しました。

「少年育成支援官」は、以前「少年補導職員」と言う職名だったそうです。現在の子どもたちの状況からは、補導よりも未然防止、回復支援など育成支援が重要なので「少年育成支援官」と名称が変わったことを、支援官がはじめに話されました。

次に、全国の少年非行と犯罪被害の情勢について、平成25年から令和4年までのグラフを用いて紹介されました。刑法犯（窃盗・暴行・傷害等の犯罪）少年の検挙人数等、不良行為（飲酒、喫煙、深夜徘徊などの行為）少年の補導人数はどちらも減少しています。けれども、覚醒剤、大麻等で検挙された少年の検挙人数、児童虐待事件の検挙件数等については増加しているのです。また、(SNSに起因する事犯)被害児童数は、令和元年度まで増加し、コロナ禍でも高止まりしている状況でした。この傾向は都市部に限ったことではなく、秋田県についても、また本荘由利管内でも同様のお話でした。万引き事案では、子どもだけの時に起こしているのではなく、家族と大型店や本屋等に買い物に行った際に別行動をして万引きしている事案が複数あるとのことでした。補導される子どもは、万引きを繰り返している例が多いそうです。コロナ禍が明けて、SNSを通じて知り合いになった子どもたちが広範囲の地域、あるいは複数の学校間で非行を起こしている傾向もあるとのことでした。

期間が短い冬休みですが、子どもたちは一年中で最も「お金持ち」になる時期と重なります。成長に伴い、手を離しても目と心はすぐそばにありたいです。「SNSは一瞬でつながる便利なアイテムですが相手の顔が見えない怖さがあります。子どもたちが困ったときは、顔が見える大人に相談できるようにしてほしい」と講話の結びに、支援官が繰り返しお話ししていました。

## プログラミング体験 MESH

6年生が、理科「電気の性質」の学習に関わって、プログラミング体験をしました。電気を効率よく使うために、どのようなプログラムをすればよいか、試行錯誤しながらの学習です。実は、プログラミングはすんなり解決するよりも、うまくいかなかったときにその理由を考え、次の手順を試す過程で、プログラミング的思考が高まります。

6年生の振り返りには「うまくいかなかったらどんどん変えていくのが大事だ」「何をつなげればよいか考えるのが難しかった」「たくさんセンサーを使って楽しかったし、いろいろなことを学べた」などの言葉がありました。

学校の顔として日々、学校生活をリードする6年生。プログラミングに取り組む姿もさすがですが、教室のあちこちで対話的に仲睦まじく考え合う姿を見て、「さすが！6年生」と感動しました。



## 移動保健教室 5年生・6年生 ～心と体の健康のために～

12月14日に、木村医院 院長 を講師にお迎えして、5年生・6年生が移動保健教室を行いました。ゲームやインターネット動画視聴等を長時間行うことによって引き起こされる心や体への影響や依存症について、成長期である小学生の心身の発達と関係付けてお話がありました。

子どもたちの暮らしにとっても身近であり、無くては困るアイテムになっているメディア。今回の教室

を受けて、依存症の怖さ、それを防ぐために自分ががんばることを、具体的に見つめ直しました。木村先生から「保護者のみなさんには、子どもたちの心身の健康のために、メディア機器を買い与えるときに親子で使い方の約束を決めて、しっかり見守ってほしい」と皆様にもメッセージがありました。(以下の文章は子どもの振り返りから)

「スマホやゲームの時間を1時間やったら10分休憩したり依存を防ぎたいです。依存したらなかなか直すことができないので、気を付けて生活したいです。」

「私は寝る前によくメディアを使うから、寝る1時間前には、窓から月を見られたら見たりなどしたいです。メディアを使いすぎると自律神経のコントロールができなくなると分かりました。」

「メディアを使うとすぐに情報が得られるけれど、逆に悪いこともあるのでうまく使いたいです。勝ちの姿勢、負けの姿勢も関係あると知りました。医者でもスマホ依存すると知って驚きました。」

「木村先生の話聞いて、メディアのやり過ぎには注意していきたいと思いました。メディアをやっていないときは筋トレや野球などの運動をしていきたいと思いました。大人になってもメディアの使いすぎには注意したいと思いました。」

「木村先生の話聞いて、メディアは身体に悪い影響を及ぼすことが分かりました。メディアを使ったら、何かおきに休憩することも大切だと思いました。1日を24枚のコインだと忘れないよう生活したいです。」